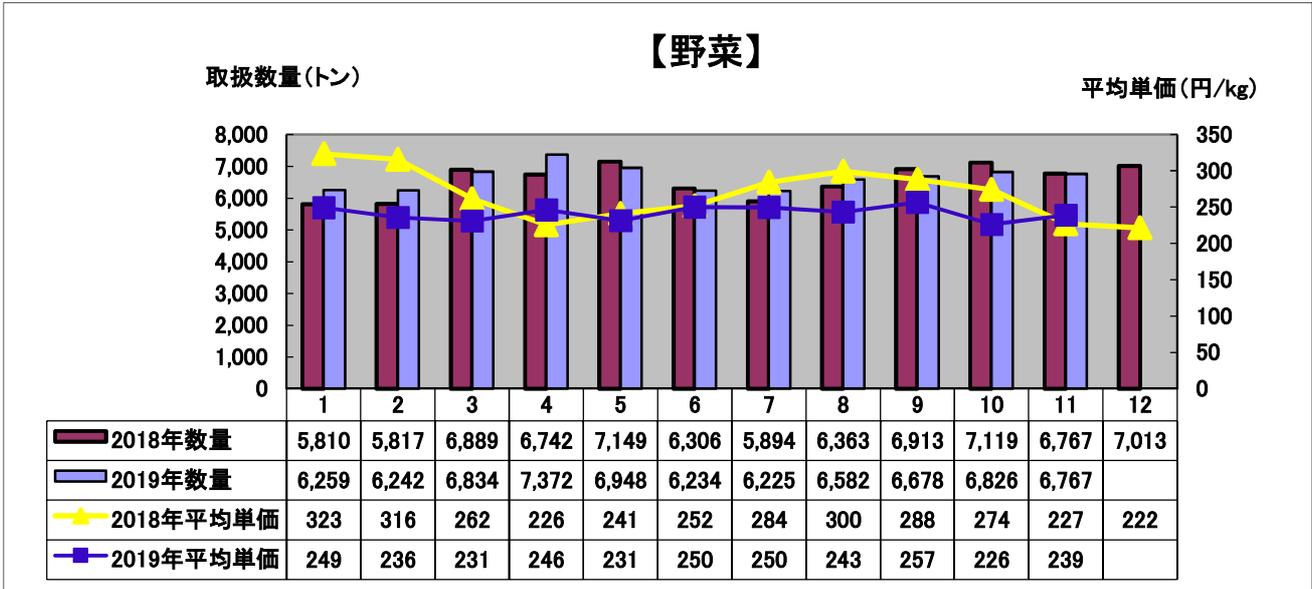
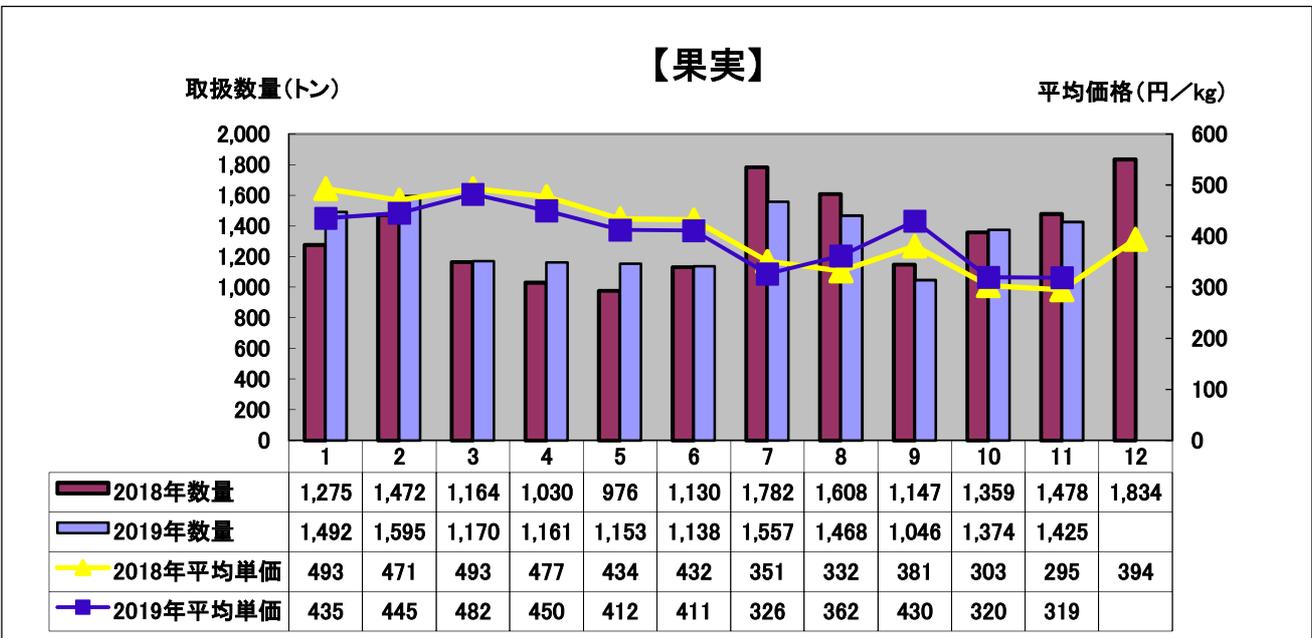


## 令和元年(2019年)11月 青果部 種類別市況



11月の野菜類は、北海道、東北、関東、四国、九州産を中心の入荷でした。台風や多雨の影響により、葉物類の入荷量が減少しましたが、全体的に入荷量は前年並みで推移しました。  
平均単価はやや高く推移しました。

前年比数量 96.4%、単価 105.3%で終了しました。



11月の果実の入荷は、柑橘類の着色遅れによる出荷遅れの影響もあり、入荷量はやや減少しました。  
平均単価はやや高く推移しました。

前年比数量 101.1%、単価 108.1%で終了しました。